

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム彩葉(いろは)

目標達成計画

作成日: 令和 2年 3月 12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の議題にヒヤリハット事項の報告を上げていないことがあり、会議の場で話し合うことで再発防止、さらなる事故の防止に繋げる必要がある。また、身体拘束適正化委員会を開催しているが、議事録の様式が決まっておらず、統一して記録、報告する必要がある。	運営推進会議においてヒヤリハット・事故報告の状況を開示することで、より透明性のある運営に繋げる。	運営推進会議の資料に、発生したヒヤリハットや事故の報告を記載し、会議の参加メンバーへ説明、検討をする事で再発防止と透明性のある運営に努める。また、運営推進会議の参加メンバーで開催している身体拘束適正化委員会の議事録を運営推進会議議事録に記載する。	6ヶ月
2	54	居室に設置しているポータブルトイレについて、居室内にそのまま設置しており、入居者様が過ごす空間として少しでも快適生活できるよう配慮が必要である。	居室内の整備を行い、入居者様にとって居心地の良い空間を作る。	居室内に設置してあるポータブルトイレを日中等の使用しない時には布を被せて、トイレが丸見えになるのを防ぎ可能な限り居心地のいい空間になるようにする。また、ポータブルトイレ以外でも動線や家具等の配置に気を付け快適な生活ができるように心掛ける。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。